

ひらく

●一点を支点としてひらく●窓・扉を
ひらく●道をひらく●口・目をひらく●
花がひらく●運をひらく●文化を
ひらく●インターネットをひらく●新
聞・本をひらく●講座・会をひらく

—— 未来をひらく、心をひらく ——

特集

うごく ふみだす

31

男女共同参画社会をめざす

特集 へびふみだす



3・11の大地震は、私たちに、これまでと、これからを考えさせてくれました。そしてたくさんさんの時間が過ぎた今、また動き出します。ふみだしたその場所が、これまでの自分を少しでも追い越していいたいんだだけだ。

何歩もふみだす

廃食油を資源として活用

「花があまりにも美しいので、その後の種採り作業などの重労働を忘れてしまいます。畝をしかけられてるみたい。」事務局の田中さんは笑顔でプロジェクトについて語り出しました。

小平市では農業基本計画の中で、活用されていない農地を持ち主の了解を得て、市民の活動に提供し地域の中で資源の循環を図る事業を考えました。それが市民公募の事業、こだいら菜の花プロジェクトです。菜種から油をとり、廃食油をBDFに加工して燃料にします。実際には菜種油は使い切ってしまうため、回収するのは

一般家庭から出る調理後の油と賞味期限後の油です。



春のごみゼロフリーマーケットで、田中さん。市民が持ち込んだ廃食油（手前）

菜の花が終わればひまわりを育て、福島県の精油所に送ってひまわり油を採ります。

「市内にはまだBDFを使ってくるところがないので、私たちは模索中です」と、田中さん。けれど、BDFでトラックの燃料をまかなっている府中市の運送会社をみつけ、9月8日の環境フェスティバルで回収した廃食油はそこに引き取ってもらいました。「菜の花プロジェクトは脱石油、エネルギーの自給、ゴミの減量、農地の保全など一石何鳥もめざしています」と、田中さんは熱心に話しました。

※BDF（バイオディーゼル燃料の略。生物由来油から作られるディーゼルエンジン用燃料の総称）

白梅の男子大学生

白梅学園大学には、約140名の男子大学生がいる。その多くは、子ども学部子ども学科に所属して、保育士や、社会福祉士になるために頑張っている。

男女共学の白梅の学生たちが勉強しているのは、子どものことや、家族支援など、いま社会がとて必要としている分野のプロを目指している。課外活動では、学生と子どもたちと親、地域の人たちが、学内の施設を使って交流する「子育て広場」を企画運営。子育て中のお母さんのサポートをしたり、地域のシニアたちとイベントを立ち上げたり、学生と近隣住人とが、子どもたちを真ん中にフレンドリーな関係を作っている。もちろんこの活動には女子学生に混じって、男子学生たちもたくさん活動している。



子育て支援の夏まつり
浴衣は地域の方に着付けてもらいました

ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....



⑥サークル活動を積極的にやりだした⑥電気、ガス、水道もないカンボジアの僻地に小学校を作り続けている。今年の1月に17校目の竣工式があった④原発、放射能、防災について考え始めた⑤福島県産のものを積極的に購入⑤ウォーキング⑤長野県に今後暮らす為に家を建てている。趣味でカルトナージュを始めた②1人暮らし。セキセイインコを飼う。就活⑤子育てが終わった段階で田舎に家を建てた⑤ヒップホップ、ラテンダンス⑧習字⑦介護の毎日。長年続けた趣味(フランス刺繍)は短時間でも続けることが大切と思う④靴の手入れ⑤篆刻(てんこく)、縫い物④家族で震災時の対応などよく話を決めて作った⑦非常用持ち出しのためのもの(食料品、医薬品等)を3か月ごとに点検して玄関に出しておくようになった⑥傾聴ボランティアの入口にたったところ。これから自分の老後のことも含めて日常生活に生かしていければと⑤節電、防災グッズ点検、復興支援物資等購入④節電。小さくてもいいので一歩前へ。

特集テーマに合わせ「最近始めたこと、はまっていることはありますか?」と、フォーラムや市役所などで訊ねてみました。97名の方々、ご協力ありがとうございました。
なお、白抜きの番号は年齢を表しています。⑥は60代。

世代間交流広場の代表、向笠聡さんは、「白梅子育て広場に入ったことで、大学生活が大きく変わりました。自分自身、基本的には人見知りの性格なのですが、白梅子育て広場での活動や被災地ボランティアなどの様々なボランティアへの参加を通して親子・高齢者・障がい者などの幅広い小平市の地域の方々との「つながり」を数多く作ることが出来ました。「つながり」を通して、小平市の地域で活動している団体と合同で企画を開催したりと、つながれたからこそ出来る企画に取り組めたことは大変喜ばしいことだと感じています。」と、語ってくれた。

ウーン、男女共同参画の未来は明るいぞー。



子どもを守るために 動き出したママ達

3・11からの

給食安全プロジェクト

キックオフミーティング

1週間（21食）のうち約4分の1が給食となる子ども達。福島第一原発事故から約1年経った5月13日、代々木の国際オリンピックセンターに「学校給食をより安全なものにしたい」と願う約70人のママ達が集まった。

小平市在住のHさんも「杉並区から小平市に越してきて給食も再開したが、国や東京都の対応も期待できない。これで良いのか」と迷う日々、何か得るものはないかと参加したという。小平市は昨年9月に給食に関する請願が採択され一応は「可能な限り内部被ばくの低減に努める」ことにはなったが、100ベクレル/kgという高い基準値の中、依然不安は残っている。

ミーティングでは世田谷区や小金井市での取組みを紹介するとともに、小学校で臨時栄養士を務める関根美知子先生や武蔵野市や三鷹市に給食食材を納入するグルー

プ野原の鈴木浩克さんから、関係者サイドからの話も聞くことができた。しかし結局は、各自治体や学校単位での取り組みとなり、「世田谷や杉並のように相当頑張らないと、改善傾向に至らないということ、改めて感じた」とHさんも話す。今回参加したメンバーは、その後メールリンドグリストなどで情報交換を行うとともに、9月には目黒区の元校長先生を招いての勉強会や、福生市の大手納入業者を訪ねるなど継続的な交流を図っている。ママ達の願いは未来（子ども達）のために、安心できる環境を残すこと。まだまだ問題は山積しているが、立場を超えてつながること、思いを共有することで問題を解決しようとする「動き続ける」ママ達から、今後も目が離せない。



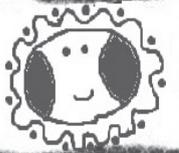
午後にはパネリストと共にフリーディスカッションも行われた

ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....



⑦前向きになんでもしようと思った⑥節電⑤サークル活動に少し積極的にかかわるようになった。お気に入りのスポーツ選手を応援するようになった⑤被災地への募金参加、旅行、情報チェック、フクシマの情報チェック⑥今までの活動以外の活動を始めた。市外での活動⑥政治行政への関心を持ち続けることを実感⑦人との絆。まずあいさつから⑦姿勢が悪くなり背中が丸くなるのが気になり毎日かならず背中の筋肉を鍛えている③職場から実際に自宅まで歩いて帰った⑦機会があったら意見交換会などに参加してみたい④東北の復興をいつも気にしている。年に何回か行く⑤まめに電源を切る⑤頭髪を染めることを止めた。災害への備え。自分の身は自分で守る。募金④節電。家族にその日の行動予定、行先を予め伝えておく。その日一日無事過ごせたことに感謝する⑥被災地へ物資を送った⑤テレビからラジオ、新聞に情報源を求める。雑誌、ネットも⑥この春他県より転居してきた⑦健康でいつも自分のことができるようにしたい⑥脱原発憲法遵守を請願する署名活動。なくそう原発平和をつなぐ有志の会で立ち上げ集約している⑦カンパに協力⑤水の備蓄や防災用井戸の確認⑥保存食、水を保存④アルバイト⑤持物の断舍離③旬のものを食べるように心がけること。

特集 いびきふみだす



脱サラして

介護タクシーを始めた

岸 和夫さん

55歳で脱サラした岸さんは、高齢者を支える仕事をしようとヘルパーの資格を取って、有料老人ホームに就職。そこで、介護が必要な人とその家族を自宅から病院や介護施設へ、病院や介護施設から自宅へ運ぶ「介護タクシー」を知った。ストレッチャーが常備されているので寝たきりの人をベッドからベッドへ運ぶこともできる



岸さんと介護タクシー専用自動車

タクシーである。岸さんは、すぐに全国介護タクシー協会の会員になり、国土交通省の事業許可を取得。2種の自動車免許を取り、介護タクシー専用の自動車を購入した。やろうと決めたら迷わず動く、それが岸さんの生き方なのだ。

営業を始めたのは57歳のときから今年で6年になる。人と話すのが大好きな岸さんは、明るい話題で客の心を和ませながら車を走らせているという。車内には高齢者には懐かしい歌が流れ、可愛い人形が笑顔で客を迎えてくれる。一方で、3カ月学校に通ってヘルパー1級の資格を取り、2年前に訪問介護事業所の認可を得た。自宅から病院に通う客を介護保険が使える料金で運ぶことができるようになり、利用客に喜ばれている。「感謝されてお金がいただける仕事ができきて幸せ」という岸さん。最近、介護タクシーという仕事を前楽しんでやれるよう仕事の量を前の半分くらいに減らしている。

新聞、はじめました。

職業ニ無職。私は俗にいうニートだ。金無しニート、代りに時間は山ほどある。グータラ寝てるのにも飽きてきた昨今、新聞を読みはじめた。

26歳にして初めての新聞。これが結構面白い。中でも面白いのが政治だ。しがらみゼロの私から見ると、民意のない政治など完全にコメディーだ。もうすぐ選挙が始まる。どの党も大して変わらないが、今度は初めての選挙に行ってみたいと思う。(m)

手洗い、はじめました。

容量無視で使い続けた洗濯機が、遂に動かなくなつた6月のある日から、2日に一回手洗いを続けている。

風呂の残り湯に洗濯物をつけ込んで、洗剤と漂白剤を少々入れて待つこと1時間。湯の色が変わったらバスタブの栓を抜いて、後は洗面所でジャブジャブゆすいで、ぎゅつと絞って干すだけ。干した洗濯物からポタポタ滴が落ちるけれど、ほっときゃ乾くので気にしない。なにより電気を使わない清々しさが良い。よし寒くなるまで続けるぞ！。

(節電子)

ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....



③自分に贅沢を許すようになった。美味しいものを食べ、行きたいところに行く。家族を大切に。婚活を始めた。つまり「今を生きる」ということ⑥家族の避難先連絡方法の確認。不要なものは捨て、必要なものは大切に⑦ラジオ等を目の届くテレビの脇に置くようにした⑤ウォーキングからジョギングにつながることを願っている⑤ダイエット⑤2週間に一度くらい、朝5時30分頃起きてバス停と道路を掃いている。通りがかりの人が声をかけてくれることも多い③買い物、ライブコンサート鑑賞、語学。仕事のストレス解消のため④韓流ドラマ。忙しくて好きなことをする時間を持つと自分が保てる。特に現実離れた内容の韓流ドラマは現実を忘れさせてくれる⑤朝のトレーニング通勤に手前の駅で降りて歩くようにしている。体調が良かったようだ②筋肉トレ②ライブ参戦、一人旅②記念硬貨の蒐集②愛犬と遊んだり散歩したりすること⑤手作りおもちゃ作り④ピアノ。子どものレッスンを始めるにあたり母親である私も再開。気分転換、ストレス発散にもってこい。子どもとの共通の趣味ができたようでうれしい④2~3年前から東野圭吾にはまっている。ホームベーカリーで生地を作り、いろんな形のパンをオーブンで焼く。

店を造るHoloHolo

ハワイ語で散歩という意味のカタ語「ホロホロ」は、洒落た看板が見える路地の奥、店先のデッキチェアとかき氷の旗に惹かれて、ちよつと寄ってみたくなる。

オーナーの長谷川さんは、小平団地出身。シングルマザーになって帰って来た時、実家が近いのが一番と、団地のそばに住まいを見つけたが、気がついてみると、この辺りには、ふらつと入れるカフェも、おいしいお昼が食べられる店もない。

「そうか、ないか、だったら私が造っちゃえ」と思い立って、本当に開店してしまった。

ホロホロは、場所、店、メニュー、どれも長谷川さんが決めて実現して来た。そんな彼女を力強く支えてきた仲間達。殆どが子どもの幼稚園時代の友達で、厨房の改造も、壁の塗り替えも、いつも一緒に汗



店内の様子。オーナーの長谷川さん

各種ベーグルが評判。トマトが入ったものもあります。ケータイリングサービスあり

BAGEL SAND



を流した。

何かをしたいと思った時、決心を変えない意志と、諦めない心と、仲間。これがあれば大抵のことはできてしまう。長谷川さんを見ていてそう思った。

おやすみなさい！気をつけて

団地内自治会主催の

“居酒屋わんか”

小平団地は全部で50棟。団地内に24時間営業のスーパー、病院、郵便局、銀行のATM、4カ所の公園、バス停があり、小さな町のような感じです。

団地の集会所で月1回（8月・1月休み）開かれる「居酒屋ざんか」は、昨年の5月に開店しました。「居住者が相互の親睦をはかる憩の場」です。自治会では、独り暮らしのお年寄りが増えたのが気になっていました。部屋に籠りきりになるのはよくないと、他市の団地の取り組みを見学し、自分たちの団地に合ったやり方で居酒屋を始めました。ワンコイン（500円）で飲み放題、食べ放題、しゃべり放題。でも、悪酔いする人がいない、相手のことがわかって仲間が増える場所です。



暗闇に赤い提灯が手招きをするように揺れていました



飲むほどに楽しい

居酒屋ざんかにはいくつかの工夫があります。①目印に赤提灯と暖簾をつける②一人で来ている人には接待係が話しかける③実費でつくる料理と酒は差し入れ歓迎④マイカップ持参⑤おかわりは空のビール缶と引き換える⑥飲めない人には本格珈琲を出す。19時から始まって20時50分には閉店です。「おやすみなさい」「気をつけて」と言ってお家路につきました。

お客さんの声

- ・家の中に籠ると仲間ができない。仲間ふやしの場だ。
- ・話ができる。
- ・最高だよ。
- ・酒の飲み方がしつこくない。わかっけて友達になる。
- ・妻が言ってくれた。酒を飲まない男は信用できないって。
- ・定時に帰ることができたので初めて参加した。
- ・花が好きなお友達同士です。
- ・ワンコインでは悪いなと思う。
- ・悪酔いする人がいない。
- ・女性も安心して参加できる。
- ・これだけの時間でいい気分になれる。

ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....ワタシははじめました.....



③断捨離④宇宙についての話。宇宙や星の成り立ち等について知らないことばかりで、知れば知るほど興味を持って夜空を見れますよ②自己啓発で語学学習⑤漢字検定③ダイエット。30代を迎えて食生活を見直すことにした④銭湯やマッサージでリフレッシュすること②ネイル。毎月テーマを決めてそれに合わせたデザインのネイルをしてもらっている。料理教室にも通い始めた④東京近隣(埼玉、千葉)の日帰り温泉に行き、「道の駅」で地元野菜を買って帰ること。「自分」を深くみつめること②映画。一人レイトショーにハマりたい。念願のアロマディフューザーを購入⑤健康。太く長く生きたいと思っている④食糧と水の備蓄。放射能問題の様々な情報をとり、食の安全に努めている⑤自分が思ったことは言う。やりたいと思うことを先延ばしにしない。⑦今日の元気を明日にも。脳いきいき教室のいくつかに参加(市報募集による軽運動、ソロバン、脳トレ教室など)⑥数個のサークルに入会した⑥ペットのための保存水を置く。エコ家電に買換え。ポジティブ思考⑤まめに電源を切る⑥日本舞踊⑤この先もずっとこのまま続かないことをあらためて意識した。

ひろく 示板

新しい講座がはじまります 男女共同参画推進講座

保育つき

市では今年、DV（ドメスティックバイオレンス）防止のための啓発講座と、女性の再就職・就労支援をテーマにした2つの講座を開催します。

DV防止啓発講座は、講師のデート漫才からはじまり和やかなムードで、女性だけでなく男性でも、パートナーと一緒に参加できる講座に。そして女性の再就職・就労支援講座では、働きたい女性の“きっかけづくり”を応援します。どちらも保育付き。詳しくは、市報や市のホームページでご覧ください。

日程：DV防止啓発講座 平成24年11月9日(金)・17日(土)
女性の再就職・就労支援講座 平成25年1月19日(土)・26日(土)

傍聴しませんか？

男女共同参画推進審議会

小平市の男女共同参画を推進する施策に関して、市長の諮問を受けて市長に意見や提言を述べる「小平市男女共同参画推進審議会(第Ⅱ期)」が4月に発足しました。10人の委員(任期2年)のうち7人が新しい委員に入れ替わり、第Ⅰ期とは違った視点での審議が期待されています。審議は年3回開催されます。市民に公開されていますので、市報で日時、場所を確認してください。

「小平アクティブプラン21」から 子育て支援も男女共同参画を 推進する施策です

平成19年度から実施されている「小平アクティブプラン21～多様な生き方を尊重してすべての人が自分らしくいきいきと暮らす～」の、第3章基本計画→第1節 働く場における男女の共同参画・仕事と家庭生活の両立→2 仕事と家庭生活の両立の支援に、「子育て支援の充実」が書かれています。

具体的には、①子ども家庭支援センター、子育て相談窓口の充実、②ファミリー・サポート・センターの充実、③児童・青少年が活動する場の充実・拡大、④児童虐待を防止するネットワークの充実、⑤保育事業の充実、⑥学童クラブの充実、⑦地域の子育て支援の充実、⑧長期の育児・介護休業制度を導入する企業の褒賞等の検討、⑨子育て支援事業の周知徹底、⑩ひとり親家庭へのきめ細かい支援、⑪家事、子育てを支援する講座の開催といった施策があります。

小平市は、厳しい財政であっても、多様な子育て支援を行っています。あなたが知らない支援があるかもしれません。近くの地域センターや公民館などに置いてある「子育てガイド」を開いてみてください。



いちど 来てみませんか？

小平市男女共同参画センター

ひろく

(愛称)

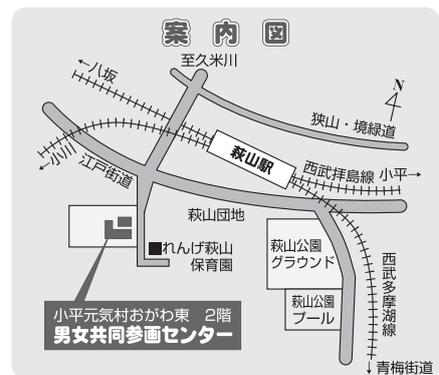
小平市男女共同参画センター

〒187-0031 小平市小川東町4-2-1
小平元気村おがわ東 2階

042-348-2112 (青少年センター兼用)

西武拝島線・西武多摩湖線 萩山駅南口より徒歩5分
※駐車場に限りがありますので、車での来館はご遠慮ください

- 開館時間 午前9時～午後10時
- 休館日 火曜日・年末年始・奇数月の第2日曜日
- 利用対象者 利用登録団体・個人
- 問合せ先 次世代育成部青少年男女平等課
042-346-9618



小平市男女共同参画推進実行委員は、市報「こだいら」で募集します。